

山田雄三先生略歴及び著作目録

1. 略 歴

明治 35 年 12 月 20 日 山梨県甲府市生
昭和 2 年 3 月 東京商科大学本科卒業
昭和 10 年 7 月 東京商科大学助教授
昭和 16 年 4 月 東京商科大学教授
昭和 19 年 8 月—21 年 12 月 東京商科大学附属図書館長
昭和 25 年 11 月 経済学博士
昭和 30 年 4 月—32 年 3 月 一橋大学経済学部部長
昭和 32 年 8 月—33 年 7 月 再び一橋大学経済学部部長
昭和 40 年 1 月 社会保障研究所長
昭和 40 年 3 月 一橋大学辞職（定年一年前），同大学名誉教授
昭和 48 年 1 月 社会保障研究所長辞任（二期終了），同研究所顧問
昭和 48 年 5 月 勲二等旭日重光章

〈海外出張等〉

昭和 10 年 9 月—12 年 11 月 オーストリア（ウィーン）留学及び欧州各国，アメリカ合衆国出張
昭和 18 年 2 月—9 月 一橋大学東亜経済研究所員として中華民国へ出張
昭和 28 年 8 月—9 月 国際国民所得国富学会（イタリア）に出席及び欧州各国へ出張
昭和 34 年 11 月—12 月 日本生産性本部，経済分析専門視察団としてアメリカ合衆国へ出張
昭和 42 年 9 月—10 月 社会保障制度視察のため渡欧
昭和 43 年 3 月 日米文化教育事業委員会の共同研究打合せのためフィラデルフィアへ出張
昭和 47 年 9 月—10 月 ISSA 専門委員会（スイス）に出席のため渡欧

〈審議会関係〉

昭和 34 年 6 月—38 年 4 月 経済企画庁経済審議会専門委員，その後 45 年 9 月まで同臨時委員

- 昭和40年9月—42年9月 厚生省公害審議会委員, その後48年11月まで生活環境審議会委員
- 昭和41年4月—43年3月 総理府恩給審議会委員
- 昭和42年7月—44年7月及び46年3月—現在 厚生省人口問題審議会委員(会長代理)
- 昭和42年9月—44年9月 厚生省国民年金審議会専門委員, その後44年9月—現在同委員
- 昭和44年3月—48年3月 総理府社会保障制度審議会委員
- 昭和48年5月—現在 厚生省社会保障長期計画懇談会委員(座長代理)
- 昭和48年6月—現在 厚生省中央社会福祉審議会委員(委員長)
- 昭和48年9月—現在 厚生省中央社会保険医療協議会委員

2. 著作目録(昭和40年以降)

(1) 著書・訳書・編書

- 『経済成長と産業構造』〈塩野谷祐一・今井賢一と共編〉春秋社 40年10月
- サイモン・クズネット『戦後の経済成長』〈長谷部亮一と共訳〉岩波書店 41年9月
- G・ミュルダール『経済学説と政治的要素』〈佐藤隆三と共訳〉春秋社 42年12月
- マグローヒル『現代経済学辞典』〈千種義人他数名と監訳〉好学社 43年4月
- 『社会保障研究序説』〈著書〉東京大学出版会 43年10月
- 『ベヴァリジ報告・社会保険および関連サービス』〈監訳〉至誠堂 44年12月
- 『流動する経済体制』〈著書〉日本放送出版協会 45年3月
- 『70年代社会の課題と目標』〈編書〉至誠堂 45年12月

他に共編に準ずるもの

- 社会保障研究所編『戦後の社会保障』至誠堂 43年2月
- 社会保障研究所編『社会保障水準基礎統計』東洋経済新報社 48年6月

(2) 論文・報告・その他

- 「所得分布の戦前・戦後の比較」(国民生活研究所編『所得分布の実態および世帯構造変化に関する研究』騰写 40年3月)
- 「社会計画の方法論に関する基礎問題」〈都村敦子と共同〉(社会保障研究所『所内資料』40年3月)
- 「創刊の辞」(『季刊社会保障研究』40年6月)
- 「社会保障および社会福祉対策について」(『自治研究』40年10月)
- 「産業社会の課題」(山田他編『経済成長と産業構造』40年10月)
- 「社会保障の体系的整備」(『実務と法令』41年1月)

- 「福祉国家の基礎的問題点」(国民生活研究所編『国民福祉政策の基本問題』 41年2月)
- 「社会計画における青少年問題—ユニセフ・アジア会議の資料について」(保坂哲哉と共同)
(『季刊社会保障研究』 41年3月)
- 「社会指標と経済指標との相関」(花島政三郎・都村敦子・大本圭野と共同)(社会保障研究所『所内資料』 41年3月)
- 「社会保障と社会計画」(『共済新報』 41年5月)
- 「日本における地域別統計による経済的要因と社会的要因との相関について」(花島・都村・大本と共同)(社会保障研究所『所内資料』 41年6月)
- 「国民生活白書と社会保障の問題」(『社会保険旬報』 41年7月11日)
- 「日本社会保障の水準と型」(『月刊福祉』 42年1月)
- 「社会保障研究の前進のために」(『週刊社会保障』 42年2月16日)
- 「行政と研究」(『季刊社会保障研究』 42年6月)
- 「政策研究の基本的態度について」(同上)
- 「年金積立金運用の原理と運用方法」(前田清他数名と共同)(産業計画会議『資料』 42年3月, 別に社会保障研究所『所内資料』 42年5月)
- 「労働・生活・社会保障」(『日本労働協会雑誌』 42年7月)
- 「計画の論理とその反省」(『潮』 42年7月)
- 「社会保障における個人と国家」(『週刊社会保障』 42年8月14日)
- Some Statistical Data for Planning in Favour of Children and Youth in Japan. (UNICEF, *Children and Youth in National Planning and Development in Asia*, Vol. I, 1967)
- 「経済発展と社会保障」(社会保障研究所編『戦後の社会保障: 本論』 43年2月)
- 「西欧社会保障の最近の動き」(『週刊社会保障』 43年3月11日)
- 「厚生経済学」(社会保険法規研究会『日本社会保障大百科』 43年3月)
- 「財政投融资の現状と問題点」(前田清他数名と共同)(産業計画会議『資料』 43年3月)
- 「経済社会発展計画における社会保障」(健康保険組合連合会『社会保障年鑑 1968』 43年4月)
- 「社会体制と社会保障—とくにナショナル・システムとしての社会保障」(『季刊社会保障研究』 43年12月)
- 「社会保障と財政の壁」(『週刊社会保障』 44年1月6日)
- 「スライド制雑考」(『共済新報』 44年1月)
- 「生活水準と比較研究委員会の成立および経過」(統計研究会『日米両国における生活水準の実質比較, 昭和43年度報告書』 44年3月) 同論文英訳 The Committee for Comparative Research of Levels of Living, its Establishment and Work.
- 「自由・干渉・組織」(『組織科学』 44年3月)

- 「恩給審議会の答申におけるスライド制の問題」(『年金時報』 44年5月)
- 「社会保障水準の考え方」(『ねんきん』 44年6月)
- 「序論」(産業計画会議編『財政投融资と社会開発』経済往来社 44年8月)
- 「イギリス白書：国民老齢退職年金と社会保険」〈数名と共訳〉(『国際社会保障研究』 44年9月、その前に社会保障研究所『所内資料』 44年3月)
- 「国民生活と社会保障」(『週刊社会保障』 44年8月11日)
- 「経済社会変動期における社会保障」(『健康保険』 45年1月)
- 「高齢者世帯における生計費に関する研究資料」〈小沼正・地主重美と共同〉(厚生省科学研究費によるもの、社会保障研究所『所内資料』 45年1月)
- 「経済審議会の社会保障報告について」(『社会保険旬報』 45年2月)
- 「1960年代社会保障の展開—総論」(『季刊社会保障研究』 45年3月)
- 「ラッセル・セージ・ファウンデーション、社会変化の諸指標」(社会保障研究所『所内資料』 45年9月)
- 「情報化社会の情報」(『日本労働協会雑誌』 45年10月)
- 「体制論的思考について：北野説の批判と展開」(『国民経済雑誌』 45年11月)
- 「社会保障制度の改善とは何か」(週刊社会保障編集部編『日本の社会保障』 45年11月)
- 「コオディネーションの条件」(山田編『70年代社会の課題と目標』 45年12月)
- 「綱領としての人間性社会主義」(『公明』 46年1月)
- 「社会保障と国民ベース」(『週刊社会保障』 46年1月)
- 「日米生活水準比較研究委員会の日本側の経過報告」(日本学術振興会・統計研究会『日米両国における生活水準の実質比較』非売 46年3月) 同書英訳 *Japan Society for the Promotion of Science, Comparison of Levels of Living in Real Terms in Japan and the U. S., 1971.*
- 「ローリク編、1970年代のための社会経済学」〈書評〉(『季刊社会保障研究』 46年3月)
- 「展望(日本の社会保障)」(社会保障制度審議会事務局編『社会保障制度審議会20年の歩み』 46年3月)
- 「ミュルダールのスウェーデン擁護論」(『社会保険旬報』 46年4月)
- 「グンナー・ミュルダール—福祉国家論をめぐって—」(『季刊社会保障研究』 46年9月)
- 「社会保障論の基礎に関する五つの拠点」(週刊社会保障編集部編『日本の社会保障』 46年10月)
- 「クズネッツの人と業績」(『中央公論・経営』 46年11月)
- 「経済情勢の変化と社会福祉」(『厚生指標、特集』 46年11月)
- 「労務管理と社会保障」〈平石長久他数名と共同〉(健康保険組合連合会委託研究、社会保障研究所『所内資料』 47年4月)

- 「今後の社会保障のあり方」(『東洋信託ニュース』 47年5月)
- 「丸尾直美訳, ミュルダール: 社会科学と価値判断」〈書評〉(『経済往来』 47年5月)
- 「福祉理念と現実的地盤」(『公明』 47年8月)
- 「社会保障論の基調について」(『週刊社会保障』 47年8月14日)
- 「社会保障政策論ノート」〈16回連載〉(『週刊社会保障』 47年8月〜12月)
- 「福祉社会を育てるもの」(『公明』 48年4月)
- 「年金制度の運営が国民経済に及ぼす影響の計量的分析に関する研究」〈市川洋・地主重美との共同〉(厚生省科学研究費による研究 48年4月)
- 「公的年金のあり方について——差し当り合意をはかるべき諸点」(『実務と法令』 48年5月)
- 「社会保障政策論ノート」(『季刊社会保障研究, 特集』 48年7月)
- 「近代経済学の立場と政策論」(『東京経済大学学報』 48年7月)
- 「マックス・ウェーバーとミュルダール——価値判断論ノートの一節」(『春秋』 48年8・9月)
- 「福祉増進の諸要求とその調整——社会保障計画の前提を考える」(『週刊社会保障』 48年9月17日)
- 「実存哲学と経済科学」〈武藤光朗と対談〉(『創文』 48年11月)